くりはらの大豆だより

令和８年度 第３号　令和８年10月26日発行

宮城県栗原農業改良普及センター
TEL 0228-22-9404

大豆栽培の今後の管理のポイント

■適期収穫　■汚粒対策（雑草抜き取り等）　■乾燥・調製

生育状況（9/2生育調査結果）

・すずみのりは前年と比べて主茎長が長く、主茎節数が多くなっています。また、分枝数は少なくなっています。

・湿害や日照不足で生育不良となった大豆は早期成熟（黄化・落葉）して収穫時期が早まることがあります。ただし、葉や茎が枯れても子実が十分に成熟していない場合もあるため、以下を参考に成熟期に達したか判断しましょう。

表. 生育調査ほ調査結果

品種		播種日	主茎長	主茎節数	分枝数	開花期	成熟期
すずみのり	本年値	6/14	66.6cm	12.3節/本	3.4本/本	8/2	10/23
志波姫南八樟	前年差	3日遅	＋32.6cm	＋2.8節/本	－2.1本/本	6日遅	19日早
ミヤギシロメ	本年値	6/11	69.5cm	13.0節/本	3.9本/本	8/7	未
若柳下畑岡	前年差	―	―	―	―	―	―

※ミヤギシロメは今年から調査ほ場が変わったため、前年値なし。

刈取時期の目安・チェック方法

・早刈りは損傷粒や汚粒の増加、刈り遅れは割れ豆やしわ粒、裂莢、紫斑粒の増加要因となるため、適期刈り取りを心がけましょう。

・コンバインによる収穫の適期は、「完全落葉後25～35日頃」が目安とされていますが、子実や茎の水分、茎や莢の色、莢を振った時の音等から総合的に判断する必要があります。

【落葉期】
葉や葉柄が黄変して落ちる、または手で触って簡単に落葉する
茎水分は70%程度で茎に緑色が残っている

⇨

【成熟期】
（完全落葉後１５～２５日）
茎や莢が品種特有の色（褐色）に変化し、莢を振るとカラカラと音がする。
茎水分は60%程度で茎は莢と同じ褐色

⇨

【コンバイン収穫適期】
（成熟期後１０日～）
☑ 茎水分 ５０%以下（茎がやや黒みを帯び、手でポキッと二つに折れる。茎の「ぬめり」が取れる。）
☑ 穀粒水分 １５～１８%（子実に爪を立てて少し跡が残る程度。）
☑ 前日・当日に降雨なし
☑ 収穫は１０～１６時頃

図．収穫適期の判断フロー

汚粒対策

・刈取時の土の掻き込みを避けるため、刈取高を約10ｃｍ以上に設定しましょう。
・露のある時間帯を避けるため、午前10時以降にコンバイン収穫を実施しましょう。
・茎や実に色がある雑草（イヌホオズキやタデ類）や、青立ち株（莢数が少なく、茎に緑色が残り落葉しない株）は収穫前に確実に抜き取りましょう。

雑草防除

・アレチウリ、帰化アサガオ類、ヤブツルアズキ、オオオナモミ等の難防除雑草が発生しているほ場は、伝播リスクを避けるため最後に刈り取ることとし、ほ場移動時には収穫機の清掃や洗浄を行って、雑草種子を徹底的に除去しましょう。



【タデ類】



【青立ち株】



【イヌホオズキ】

乾燥・調製

・大豆は、粒が大きく殻がないため表面の水分が抜けやすい一方、内側の水分が外側へ移動しにくいという特徴があります。急激な乾燥は品質低下の要因となるため、乾燥は緩やかに行いましょう。
・循環式乾燥機等の加温乾燥では、送風温度を３０℃以下に設定し、急激な乾燥を避けることで、しわ粒や裂皮粒の発生を防止できます。
・収穫時に大豆の水分が高い場合、腐敗粒やしわ粒等が発生し品質低下を招くおそれがあるため、収穫後は、可能な限り速やかに乾燥・調製を実施しましょう。

令和８年　秋の農作業安全確認運動展開中
「徹底しよう！農業機械の転落・転倒対策」

期間　令和8年9月1日～令和8年11月30日

・安全フレーム・キャブ付きのトラクターを使用し、シートベルトとヘルメットの着用を徹底しましょう
・トラクターに乗るときは安全フレームを立てましょう。
・ほ場周辺の危険箇所の確認・改善を徹底し、危険箇所では減速や迂回等の危険回避行動をとりましょう

